

日本創傷治癒学会ニュース

企業展示も多く、まだ日本でも目新しい製品が展示されていました。これはFibroGen™というrecombinant human collagenのブース。



Baltimore 球場で学会終了後の野球観戦を終え、満足顔の参加者。



Welcome partyの参加者。



The National Aqualium in Baltimoreで開催された会員懇親会の様子。

特に遺伝子治療、幹細胞治療などこれから大きく臨床の考え方を考える予感に満ちた学会であったと思います。さらに言えば研究の方向性が日本よりも多彩な点は大変に私にとりまして得るところが多い会でした。米国を取り巻く国際情勢の環境からか、日本からの参加者は残念ながら今回はあまり多くはありませんでしたが、次の機会には是非若い研究者の方に日本創傷治癒学会で御発表していらっしゃる素晴らしい研究成果を発表していただきたいものと感じています。

最後に学会は朝8時から5時過ぎ迄開催されていますが、学会が終了後にはボルチモアに来る迄全く予想しなかった楽しみがありました。それはボルチモアの球場にSeattle Marinersが来てBaltimore Oriolesと試合をしていたことです。私も日本からの参加者の皆様と球場に行き、Ichiroの活躍を直接観戦することができました。

試合はMarinersがサヨナラ負けという結果でしたが球場の雰囲気、試合を楽しむアメリカの国民気質を堪能できました。このように学会に参加して楽しめたばかりでなく、美味しい食事、楽しいafter 5と大変に充実した思い出をバッグにつめて帰国いたしました。会場やその他の場所でのスナップ写真を掲載させていただきましたが、当然のことながら参加なさった先生は全員学会会場で真剣に討論されていたことを(私自身を含めまして)念のため?に付け加えさせていただきます。

第32回日本創傷治癒学会のご案内(第4次)

第32回日本創傷治癒学会 会長 田井良明(久留米大学医学部形成外科教授)

第32回日本創傷治癒学会を下記の通り、開催いたします。
会員の皆様の多数ご参加をお願い申し上げます。

1 会期: 平成14年12月5日(木)~6日(金)

2 会場: ホテルニューオータニ博多(〒810-0004 福岡市中央区渡辺通1-1-2 TEL:092-714-1111)

3 演題募集締切: 平成14年8月10日(土)必着

4 予定プログラム:

特別講演:

: BMPの骨欠損修復への応用技術

高岡 邦夫教授(大阪市立大学整形外科)

司会: 永田 見生教授(久留米大学整形外科)

: 再生医療の現状と展望

清水 慶彦教授(京都大学再生医科学研究所再生医学応用部門・臓器再建応用分野)

司会: 上石 弘教授(近畿大学形成外科)

ランチョンセミナー: 創傷治癒の新しい展開 - 難治性潰瘍およびオーバーヒーリング対策

徳永 昭 助教授(日本医科大学第一外科)

司会: 野崎 幹弘教授(東京女子医科大学形成外科)

主催: キッセイ薬品工業(株)

: MWH (Moist Wound Healing) Concept & Applications of Wound Dressings

Flemming Wilhelmsen, M.D., M.F.P.M.

Medical Affairs Manager Wound Care Division ColoplastA/S, Denmark

司会: 落合 武徳教授(千葉大学医学部第二外科)

主催: コロプラスト(株)

イブニングセミナー: 「『創傷治癒型』増殖因子FGF-2による階層的血管新生誘導メカニズム」

米満 吉和先生(九州大学大学院医学研究院病態医学専攻病理学講座病理病態学領域)

「創傷治癒におけるbFGFの有用性と新しい臨床応用の可能性」

市岡 滋 助教授(埼玉医科大学形成外科)

司会: 川上 重彦教授(金沢医科大学形成外科)

主催: 科研製薬(株)

パネルディスカッション(公募・一部指定):

: 増殖因子の臨床への展望

: ASO治療の現況(血行と難治性潰瘍への対策)

主題演題(公募・一部指定):

: Scarless wound healing(基礎・臨床)

: 創傷治癒からみた消化管の吻合

: Stoma形成とそのCare

: ハイブリッド型の組織工学

一般演題: 創傷治癒全般に関する演題

(創傷治癒、肥厚性瘢痕・ケロイド、再生医学、組織工学、臨床(症例)報告など)

連絡先

第32回日本創傷治癒学会事務局 事務局長: 清川兼輔(助教授)

〒830-0011 久留米市旭町67 久留米大学医学部形成外科学講座内

TEL: 0942-31-7569(直通) FAX: 0942-34-0834 E-mail: prs@med.kurume-u.ac.jp